

## 平成 29 年 6 月定例教育委員会 会議録

1. 日 時 平成 29 年 6 月 27 日 (火) 開 会 午前 9 時 30 分  
閉 会 午前 10 時 35 分
2. 会 場 茅野市役所 602 会議室
3. 出席委員 教育長職務代理者 矢崎 靖雄  
教育委員 小林 智 教育委員 小林 俊恵  
教育委員 小平 光子  
出席者 生涯学習部長 平出 信次 こども部長 牛山津人志  
学校教育課長 有賀 淳一 スポーツ健康課長 鋤柄 敏  
幼児教育課長 五味留美子 こども課長 五味 健志  
生涯学習課長 藤森 隆 文化財課長 守矢 昌文  
公民館長 矢島喜久雄  
教育総務係長 渡辺 雄一 こども係長 今井 明彦  
教育総務主事 丸茂 直樹 生涯学習係長 伊藤 研一
4. 傍聴者 2 名

## 6月定例教育委員会次第

日 時 平成29年6月27日（火）午前9時30分から

場 所 市役所 602会議室

- 1 開 会
- 2 前回会議録の承認
- 3 報告事項
  - 第1号 教育長報告
  - 第2号 各課からの報告
    - (1) 学校教育課
    - (2) こども課
    - (3) 幼児教育課
    - (4) 生涯学習課
    - (5) 公民館
    - (6) 文化財課
    - (7) スポーツ健康課
  - 第3号 教育委員会共催後援
    - (1) 生涯学習課
    - (2) スポーツ健康課
- 4 議 案
  - (1) 指定校変更の要望について
- 5 検討事項  
今回はありません。
- 6 その他
  - (1) 市議会6月定例会一般質問について
  - (2) 市議会6月定例会議決結果について
  - (3) 平成28年度保育園の運営状況について
  - (4) 茅野市奨学金審査会委員の選出について

次回定例教育委員会日程について

7月25日（火）午後1時30分「602会議室」

（事務局会議 7月13日（木）午前9時00分「602会議室」）

- 7 閉会

矢崎教育長職務代理

只今から、6月定例教育委員会を開催します。

本日教育長不在のため代理で進行を務めさせていただきます。

議事に入る前に議案1号「指定校変更の要望について」は個人の情報が入っておりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条7項により非公開で審議することが妥当かと思われます。非公開とすることにご異議ございませんでしょうか。

全委員

異議なし

矢崎教育長職務代理

それでは、議案1号「指定校変更の要望について」は非公開で、審議は1番最後に行いたいと思います。よろしくお願い致します。

本日テレビ授業ということで、東部中学校とその学区の玉川小学校・泉野小学校がテレビ授業を行うということで皆さんに見ていただくのですが、時間ははっきり分かりませんが報告事項が終わったところで5分程度見ていただこうと思います。

それでは報告事項に移りたいと思います。

最初に前回会議録の承認についてですが会議の後に署名をお願いします。

第2号議案からお願いしたいと思います。各課から7月の行事予定について報告をお願いします。

[各課から7月行事予定について報告]

資料（報告2号）

矢崎教育長職務代理

以上で各課からの報告が終わりますが、何かご質問ありますでしょうか。

次に報告事項第3号議案に入りたいと思いますが、教育委員会共催・後援についてお願いします。

[生涯学習課、スポーツ健康課から教育委員会共催・後援について報告]

資料（報告3号）

矢崎教育長職務代理

質問等ございませんか。

次に検討事項ですが今回はありませんのでその他の方に入りたいと思いますが、その前にテレビ中継をご覧いただきたいと思います。

#### 学校教育課長

ここに映しているのは『クロムブック』という物なのですが、本日学校のほうで検証しているのは『クロムボックス』という別のシステムになります。こちらのほうが少し画質が良く、かなりクリアに映っております。今回はNTT ドコモのLTE 回線で携帯電話と同じ回線です。ただ、どの機械どの回線を使用するかに関しましてはまだ検証段階であるという事ですので、機械をそれぞれお借りしている状況です。

本日は東部中学校と玉川小学校と泉野小学校でそれぞれ見えています。

接続をすれば向こうからここの様子も見られるようになります。今は見るだけのところにしか接続していませんので、こちらの様子は向こう側には分からない状態です。

先生はどちらの小学校の画面も見えています。両方見ることができますが、音声は片方です。手をあげているなどは分かります。音声自体も両方のものが先生のところに入ってくるシステムもあるようです。玉川小学校の子どもは泉野小学校のことを下の画面で見られますし、切り替えれば見られます。

この前は北部中学校区で中継したのですが、それぞれの子どもたちが話し合って、交流会で何をするか考えたようです。

将来的には台湾の学校や他の学校とも中継できますし環境さえ整えばすぐにでも出来ます。ただどのような機械を使うかで違ってきます。通常でいけばスカイプのような無料のプログラムを使えばすぐ見られます。

#### 矢崎教育長職務代理

ではこのあたりで進めます。ありがとうございました。

初めに、その他1「市議会6月定例会一般質問について」および2「市議会6月定例会議決結果について」につきましてはこども部長と生涯学習部長にお願いします。

#### こども部長

その他1の資料をご覧ください。まずこども部の関係ですが、6人の議員から7件の質問をいただきました。

はじめに伊藤玲子議員からですが、「子どもの豊かな育ちを保障するための更なる教育環境の推進について」ということで、2つの質問をいただいております。

1つ目の子どものいじめ対策についてですが、右側の回答要旨をご覧ください。昨年度のいじめ件数は、小学校4件、中学校10件の合計14件がありました。各校でいじめ防止基本方針を策定し対策委員会を設置して対応しています。また、スクールソーシャルワーカーやカウンセラー等の配置、専門家の指導助言等の支援体制の充実を図っている、という回答をさせていただきました。

2つ目の教師の負担軽減についてですが、当市の昨年度の1月当たりの時間外勤務時間は、小学校で56時間9分、中学校で54時間38分と県平均より少なくなっていること、本

年度から会議・研修の大幅な見直しを行い負担軽減に配慮しているという回答をさせていただきました。

続いて矢島正恒議員からの「魅力あるまちづくりへの若者の意見・提案の把握と各種施策への反映について」で、茅野市ぼくらの未来プロジェクトの活動状況と目指す方向についてという質問をいただきました。

未来プロジェクトは、中高生世代のメンバーにより活動しているということ、平成20年度からのこども会議を愛しているぜ茅野ミーティングに発展させ参加者の意見を活動に反映しているということ、目指す方向につきましては、自分たちの意見・アイデアを実践していくことであるという回答をさせていただきました。

伊藤正陽議員の質問です。「一人ひとりが大切にされる学校づくり」ということで5項目の質問をいただきました。

1つ目の教育勅語を教材として用いることについてですが、国として教育勅語を義務付けたものではないと理解している、市としては今までどおり「生きる力」を目標とした教育を進めていくという回答を致しました。

2つ目、準要保護及び要保護児童生徒への入学準備金の入学前支給についてであります。平成30年度入学の児童・生徒から入学前の3月に支給できるよう制度を整えていくと回答を致しました。

3つ目、テスト費用の公費負担についてであります。県教委からの学校徴収金の基本的な通知等を参考にしながら、学校徴収金のあり方について今後調査していきたいと回答をさせていただきました。

4つ目、学校給食の無償化についてであります。従来どおり食材費については保護者負担として対応していきたいと回答を致しました。

5つ目、教職員の多忙解消対策については伊藤玲子議員への回答と同じであります。その他県外の調査も多いので、減らすよう県に要望していきたいと回答を致しました。

続いて両角秀喜議員です。「小中一貫教育で得られる効果について」で、3項目のご質問をいただきました。

まず1つ目、不登校児童・生徒の現状と対応についてですが、県の不登校比率は小学校0.48%、中学校2.71%、茅野市においては小学校0.06%、中学校0.6%というように非常に小さい数字になっているということ、対応については中間教室の設置、不登校等対応検討会の開催、スクールソーシャルワーカーの配置、臨床心理士によるカウンセリング、特別支援教育支援員の配置等の対策を実施しているという回答を致しました。

2つ目、不登校児童・生徒が一貫教育で得られる効果についてであります。一貫教育と豊かな学びあい学習により「生きる力」が育まれるなどの効果が期待できると回答を致しました。

3つ目、最終効果は引きこもりの自立、ニート防止につながるのかということですが、学校へ登校する結果のみを目標とするのではなく社会的に自立することを目標とす

べきである、社会全体の課題として考える必要があるという回答を致しました。

再質問として、教育長が考える教育の定義はというご質問をいただきましたが、これにつきましては子どもが自らの考えを持ち、自ら判断し、友に伝え、友と協同して成し遂げていく。それを人格の中に作り上げていく支援が私の考える教育であるというお話を教育長のほうからさせていただいたということであります。

続いて長田近夫議員です。「就学援助について」で、3項目のご質問をいただきました。

1つ目の現行の援助制度については、茅野市要保護及び準要保護児童生徒援助費支給要綱に基づき前年度の所得額を基礎に判定し年間を3期に分けて支給していると回答を致しました。

2つ目の対象人数と援助金額については、平成28年度は、小学校293人2,090万円、中学校234人2,560万円の支給をしたと回答を致しました。

3つ目入学前支給のための予算措置については、支給額を国基準と同額とし、補正予算を計上して対応したいと回答を致しました。今年の9月補正を予定しております。

続きまして望月克治議員「主権者を育てる教育について」で、4項目のご質問をいただきました。

まず1つ目のカリキュラムの作成についてですが、教育課程の編成権は学校長にあって、学習指導要領に基づきカリキュラムを作成しているということ、4月から小中一貫教育の本格実施にあたり4中学校区ごとに、豊かな学びあいを取り入れた共通の授業感のもとと教科学習のカリキュラム編成、更には中一ギャップ解消や自己有用感を高める教育等を行っているという回答をさせていただきました。

2つ目の教育大綱の作成についてですが、市長と教育委員が「総合教育会議」において十分話し合い、平成28年2月に策定したと回答をさせていただきました。

3つ目のコミュニティスクールの設置についてですが、平成26年度から永明小学校をモデル校として取り組んでおりまして、「信州型コミュニティスクール茅野市版」を全小中学校に導入することになったと回答をさせていただきました。

4つ目の教育の目的とされる「人格の完成」についてであります。が、「人格の完成」とは、完成型があるのではなく、めざすものとして一人ひとりの個性や特性を重んじ、それらを自己が肯定して互いに認め合い、自分で考え、自分で判断し、人と協働するなかで自らの人格を高めていくものと考えるという回答をさせていただきました。

それから「子どもの権利について」4項目のご質問をいただきました。

1つ目の「子どもの権利条例」の制定についてですが、茅野市では「茅野市たくましく・やさしい・夢のある子どもを育む条例」を制定しておるので、あらためて権利条例を制定することは考えていないと回答をさせていただきました。

2つ目の「長野県の未来を担う子どもの支援に関する条例」に対する茅野市の取り組みについては、先ほど述べましたとおり既に取り組んでいる施策が多いという回答をさせて

いただきました。なお参考となる内容は、第3次どんぐりプランのなかで検討したいということでもあります。

3つ目の子どもの権利を子どもたちにどのように伝えているかですが、小学校では社会科で憲法に関し、平和主義、基本的人権、国民主権について教えているということ、中学校では、社会科で基本的人権、及び条約と法律について学んでいるということを回答させていただきました。

そして4つ目の子どもの権利の実現に向けた取組みについてですが、具体的には既に茅野市では、茅野市ぼくらの未来プロジェクト、愛してるぜ茅野ミーティング、CHUKOらんどチノチノこども運営委員会、CLCの活動等があり、こうした取り組みを通じて「子どもの権利」が実現していくと考えていると回答をさせていただきました。

こども部からは以上です。

#### 生涯学習部長

それでは山岸正衛議員よりありました、「図書館の利用について」ということで、保育園、幼稚園、学校では読書活動が盛んに行われているが、大人はまだまだ少数ではないかということで、読書活動を活発にするには、図書館の役割は大きいので図書館の利用について3項目お聞きしたいということでありました。

まず1つ目の本の貸出状況についてであります。回答は平成26年度・平成27年度・平成28年度の実績を報告しました。昨年度の28年度は、御柱祭、図書館システムの更改に伴う休館が影響して若干少なかったと報告しました。

利用者の年代別の傾向ですが、61歳から70歳までが一番多く、次が41歳から50歳、そしてそのあとが31歳から40歳であります。71歳以上のかたでも約12.7%の方が利用されており、図書館におきましては大人の方も多く利用しているということを報告させていただきました。

また分野別の貸出状況は、一般書に限っては文学関係が1位で45%、次が技術関係、次が社会科学関係と続いているということでございます。児童書においては絵本が1位、文学関係が2位、自然科学関係が3位の順であります。

図書館に求められることの中で「本の図書館から情報の図書館へ」を目指し利用の拡大、図書館の魅力を発信するという中で、今現在新しい事業に取り組んでいます。そのひとつに諏訪東京理科大学における出前授業講座を始めまして、ゴミ問題、統計学、速読法、新聞の読み方など生活課題と図書館と関係したテーマを見つけて年6回開催しているということでございます。図書館を利用したことのない人が図書館を利用するきっかけになればと期待しているとお伝え致しました。

2つ目の市民からの寄贈本について、「市民からの寄贈本について」は、1年間に約60人の方から、950冊以上の本を寄贈いただいている状況であります。大切に取り扱い、内規を定めて寄贈本を受け取っているということでございます。蔵書登録できなかった本は、「飲食コーナー」に設置してある「ご自由にお持ちくださいコーナー」に置き、市民のかたに再利用をしていただ

いているということでございます。絵本や児童本などは学童クラブで活用しております。また除籍した本については同様に「ご自由にお持ちくださいコーナー」で市民の方にご利用いただいている状況であります。

3つ目の開館時間延長についてのご質問ですが、開館時間は、茅野市図書館が6市町村の中で1番短い実態にあることから、昨年図書館利用者アンケートを実施しております。アンケート回答者448名の内、184名の方は現在の開館時間を延長してほしいという結果でありました。アンケート結果を受け、今年の1月から2月にかけて13日間、前後30分間ずつ、計1時間の延長試行を行ったところ、1日平均23.5人の利用があったとご報告させていただきました。

この夏におきましても7月から8月にかけて午前9時30分から午後7時まで延長期間を設けて開館再試行を行っていくということでご報告させていただきました。

開館時間を延長するとなると人件費の課題もありますが、茅野市流の開館時間の延長について検討していくという回答をさせていただきました。

生涯学習部からは以上です。

資料説明（その他1）

矢崎教育長職務代理

続いて「市議会6月定例会議決結果について」お願いします。その他2の資料をご覧ください。

議案第29号でありますけれども、「茅野市子どものための教育・保育給付に関する利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて」であります。先月の定例協議の中で説明をさせていただきまして、5月31日に承認をいただきました。

2ページをご覧ください。こちらからが議案の関係になりますが、議案36号でありますけれども、「茅野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について」ということでございますが、6月23日付で可決していただいたということでございます。

もう1つ、3ページの陳情の関係であります。陳情6「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情書」、それから陳情7「国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める陳情書」の2件の陳情書が出ました。いずれも採択となりました。子ども部の関係は以上になります。

矢崎教育長職務代理

ありがとうございました。何かご意見ございますか。意見がありませんので、その他3に入りたいと思います。幼児教育課長よりお願いします。



## 幼児教育課長

まず保育園の運営状況についてでありますけれども、平成 28 年度の決算は、国の段階的無償化の取り組みがスタートしたことから保育料が微減となっています。また、民営化による入所が定員に近くなったことから委託料が伸びているという状況になっております。

決算枠としては 16 億 5896 万円となっております。歳入歳出の内訳については 1 ページの下表をご覧くださいと思います。歳入の内訳の主なものとしては保育料が 25.8%、国・県負担金が 9.2%、その他市の一般財源の負担が 63.4%を占めているという状況です。歳出のほうの内訳については人件費が 56.9%、私立保育園への委託等の委託料が 20.3%という形になっております。

2 ページをご覧くださいと思います。施設別の入所児童数の推移については、ここ数年横ばいですが、3 歳未満児については 1 歳児の児童数が昨年に比べ増加という状況になっております。各施設の年度別児童数は、14 ページの参照をお願い致します。保育園の認定ごとの入所人数は資料の 3 ページ 3 段落目にありますとおり、平成 29 年 3 月 1 日現在の入所状況は、1 号認定 380 名、2 号認定 997 名、3 号認定 391 名、私的契約児 3 名、合計 1,771 名が入所となっております。

保育料については資料 4 ページからになりますが、新制度以降階層の考え方について変更はございませんが、保育料の軽減については 4 ページ下段からになりますが、国の定める多子軽減が 28 年度に拡大され、29 年度は更に第 1 子の年齢に関わらず市町村民税非課税世帯の第 2 子保育料が無料になったほか、年収 360 万円未満のひとり親世帯等の保育料の軽減が拡大されております。また加えて年収 360 万円以上の世帯においては 1 号認定と 2 号認定で国基準の多子軽減の取扱いが異なっておりますので、公平性を保つということで、茅野市独自の軽減として拡大をしています。軽減の経過については資料 21 ページをご覧くださいと思います。

軽減の状況については、6 ページからご覧くださいと思います。下段になりますが、平成 28 年度における多子世帯の軽減状況ということで、国の多子軽減になりますが、総計で 2 人目半額が 127 人、3 人目無料が 70 人となっております。

また 7 ページですが、年収 360 万円以上の世帯の中で 2 人目半額・3 人目無料がそれぞれ 335 人・25 人という状況になっております。

茅野市の多子軽減の対象者が 244 名という状況になっております。また、ひとり親世帯・障害者等対象世帯の軽減につきましては下の表のとおりでありますけれども、1 号・2 号・3 号合わせて 153 人が軽減となっております。入所児童の約半数が何らかの軽減を受けているという状況になっております。

次に 8 ページ、保育料の未納状況につきましては未納状況の一覧表 22 ページをご覧くださいと思います。前年度の収納率につきましては平成 27 年度に比べて 0.23 ポイント上がりましたが、過年度につきましては 1.86 ポイント下がっているということで今後の課

題となりますが、過年度の収納対策を強化していくということで実情に応じて欠損等の処分については検討を行っていくということで今後対応していきたいと考えております。

つぎに資料 8 ページに戻っていただきまして、特別保育事業についてです。まず延長保育についてですが、8 時間利用を超える場合には標準時間認定、11 時間を超える場合において延長保育ということで位置づけ致しております。資料 9 ページの下段でありますけれども、各園の標準時間認定の人数と延長保育の申込み人数を記載いたしておりますのでご覧いただきたいと思います。実施園のどの園におきましても 3 分の 1 から 2 分の 1 のお子さんが標準時間 8 時間以上の保育を利用しているという状況になっておりまして、8 時間以上の利用者が増加傾向となっておりますので、ご覧いただきたいと思います。

資料 10 ページの一時保育事業につきましては平成 28 年度は 27 年度に比べて利用者が増加しております。

障害児保育事業については平成 28 年度障害児 51 名に対し加配保育士 32 名を配置して個別支援を行いました。病児・病後保育については 11 ページの利用状況表、28 年度は 431 名ということで 27 年度に比べて利用者が少し増加傾向となっております。

次に 12 ページの特色ある保育園経営についてということで、広域入所のお子さんについては受託のお子さんが 20 人、委託のお子さんが 18 人という状況になっております。保育サポーターは 13 名が在職しておりこちらは増減ありません。

私立保育園との連携につきまして、平成 28 年度は 3 園が私立保育園ということになっております。よこうち保育園につきましては平成 28 年度に認定こども園に向けて移行準備を進めて、今年度から認定こども園に移行となっております。

1 日保育士体験についてですが、ずっと継続している事業になります。平成 28 年度の体験率については父 25.4%、母 59.2%ということで 27 年度に比べて増加しているという状況です。

幼保小連携教育についてですけれども、平成 28 年度につきましては 27 年度中に発刊しました「実践 接続期カリキュラム」を有効利用して、それぞれの学校の特色を活かしながら継続して取り組みを進めていく形になります。

主な説明は以上になりますが、15 ページ以降については保育料についての資料となります。

多子軽減の拡大によって大変保育料が複雑になっておりますので、1 号認定・2 号認定・3 号認定それぞれの表をご覧いただきたいと思います。

幼児教育課の説明は以上になります。

資料説明（その他 3）

矢崎教育長職務代理

ありがとうございました。その他3について何かご質問ありますか。ないようですので  
その他4「茅野市奨学金審査会委員の選出について」に入りたいと思います。学校教育課  
長からお願いいたします。

学校教育課長

ご説明申し上げます。資料は特にございませんで、口頭でご説明申し上げます。

茅野市奨学金審査会委員ですが、茅野市奨学金に関する条例に定めがございます。奨学  
金については高校等に進学する際に就学が困難な者に対して奨学金を支給給付又は貸与す  
ることができるということになっております。こちらには審査会を置くことになって、審  
査会で奨学生を審査する形になっております。任期は2年でございます。その中で教育委  
員会の委員から3名を選出するように条例上なっております。昨年までは教育長がこの中  
に入っていたわけですが、法等の改正に伴いまして、教育長は教育委員会の委員と  
いう立場ではなくなりました。したがって本日の4名の委員さんの中から3名を選出  
させていただきたいと思います。つきましては、お諮り致しますが、この中で3名の方々  
をお決めいただきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

矢崎教育長職務代理

この中から3名を選ぶということですがどうでしょうか。

学校教育課長

一応案がございますけれども、任期が2年ということがございますので、小林委員さん  
につきましては任期があと少しで満了ということでもありますので、残りの矢崎職務代理者  
さん、小林俊恵委員さん、小平光子委員さんの3名でお願いしたいと思います。ご審議の  
ほうよろしくお願い致します。

矢崎教育長職務代理

案でよろしいでしょうか。

全委員

異議なし

学校教育課長

また通知を改めてさせていただきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

なお第1回目の委員会は改めてご通知申し上げますが、7月20日19時からを予定しておりますので、またご予約のほうお願い致します。

学校教育課からは以上でございます。

矢崎教育長職務代理

ありがとうございました。以上で公開の審議は終了しました。

非公開部分の審議に入ります。

恐れ入りますが傍聴人の方は退席をお願い致します。

~~~~~  
(非公開部分)  
~~~~~

矢崎教育長職務代理

本日の予定されていた議事は全て終了しました。

次回定例教育委員会ですが、7月25日火曜日午後1時30分から、事前を午後1時00分から開催したいと思います。よろしいですか。

全委員

異議なし。

矢崎教育長職務代理

ご異議ないようですので、そのようにいたします。

以上で6月定例教育委員会を終了します。

茅野市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定によりここに署名する。

平成 29 年 7 月 25 日

茅野市教育委員会          教   育   長

同職務者代理

委                  員

委                  員

委                  員

こ ども 部 長